

かがやき



大久保小学校 学校だよりNo.22
令和6年12月17日
文責 黒田 優一



小さな研究者たち

12月1日(日)に佐世保市総合教育センターで「第16回下村脩ジュニア科学賞 SASEBO 表彰式」がありました。この賞は、佐世保市出身のノーベル化学賞受賞者下村脩先生の業績を称えるとともに、子どもたちに科学の面白さを味わわせ、将来にわたって深く科学を追究していこうとする意欲をもたせることにより、佐世保市から再び下村脩先生のような、世界的に活躍する人材が育つことを目的として、平成21年につくられたものです。今回、本校2年生の池田良祐さんが「ぼくのかまきり」の研究で、6年生の本村充さんが「セミの幼虫が羽化場所を決めるまで 一行動観察からわかること」の研究で、見事に「下村脩ジュニア科学賞」を受賞しました。表彰式では、池田さんと本村さんが、みんなの前で、自分の研究をしっかりと発表することもできました。

今年度の下村脩ジュニア科学賞 SASEBO の応募総数は3,872作品。昆虫などの生き物の観察や紙飛行機の研究、赤外線の実験など、いろいろなテーマで研究が行われていました。テーマはいろいろですが、どの作品も、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」という疑問から研究が始まっています。表彰式の審査講評の中で、審査委員の先生が、「自分の目で見つめ続けてきたことは、次の自分の目につながる。大切なことは、あきらめないことと、やり続けること。」というお話をされていたのがとても心に残りました。

考えてみると、私たちの周りには「科学」があふれています。私たちの生活の基礎となる衣食住を取り上げてみても、衣服の一つ一つに、食べ物の一つ一つに、住居や暮らしの一つ一つに、科学の力や科学の歴史が見えてきます。私たちの生活は、科学によって、またそれを築き上げてきた人々の研究によって支えられてきたといっても過言ではありません。第16回下村脩ジュニア科学賞 SASEBO の各賞の受賞作品は、12月22日(日)まで、佐世保市少年科学館「星きり」(9時~17時:火曜休館)に展示されています。

また、12月14日(土)には佐世保市立図書館で「第53回児童・生徒の郷土研究発表会」がありました。本校6年生の平野才華さんが「二つの国から見た太平洋戦争」の研究を発表しました。平野さんは、日本から見た太平洋戦争、アメリカ合衆国から見た太平洋戦争という、二つの国の視点に立ちながら、実際に自分の目で見て、考えたことを研究にまとめ、発表することができました。

3人ともに、とてもすばらしい研究であり、すばらしい発表でした。

これからの科学を、これからの歴史を創り上げていくのは、今、目の前にいる子どもたちです。子どもたちの、「なぜ?」「どうして?」という疑問、子どもたちの研究心、子どもたちの学びを学校と家庭と地域で一緒に支えていきたいですね。

令和6年度歯の健康優良校コンテスト「努力賞」を受賞しました

12月7日(土)に開催されました第64回佐世保市学校保健研究大会において、大久保小学校が、令和6年度歯の健康優良校コンテスト「努力賞」に表彰されました。これからも大久保小学校では、歯の健康をはじめ、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方や、保護者の皆様、地域の皆様との連携を図りながら、学校保健の推進に努めてまいります。

大久保小学校一徳運動・・・気持ちのこもったあいさつと言葉遣いをしよう